

言語文化教育研究学会 第1回年次大会予稿集

2015年3月21日(土)

東洋大学

2015

東洋大学へのアクセス

東洋大学白山キャンパス

〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20

TEL:03-3945-7224 (代表)

都営地下鉄三田線白山駅

「正門・南門」 A3 出口より徒歩5分

「西門」 A1 出口より徒歩5分

東京メトロ南北線本駒込駅

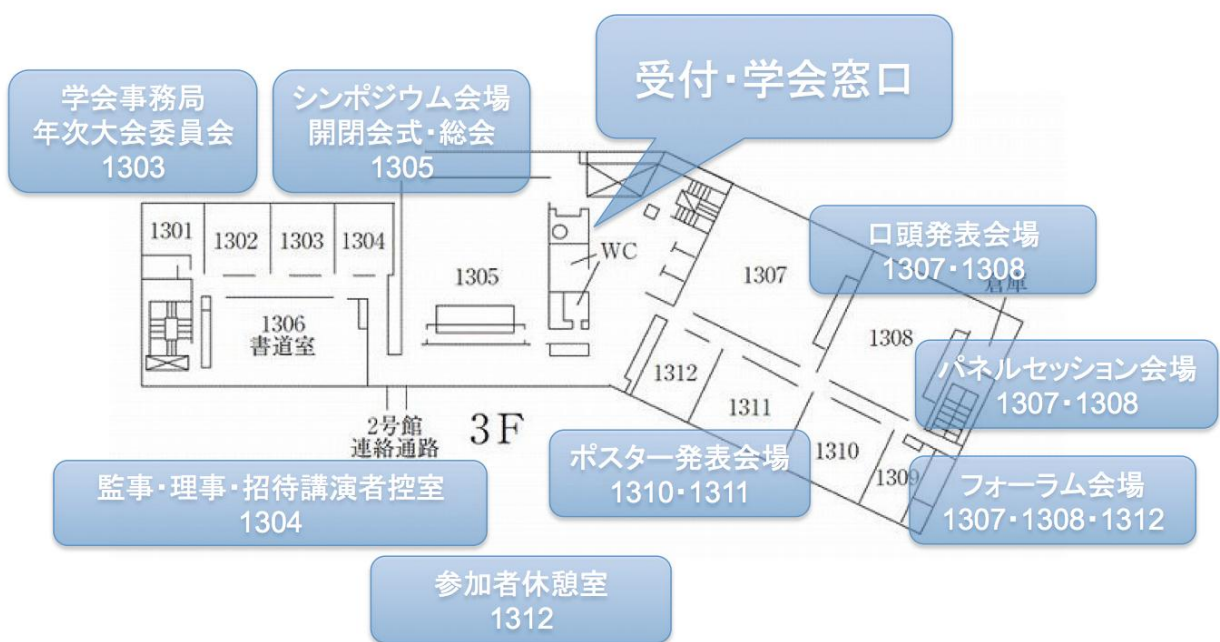
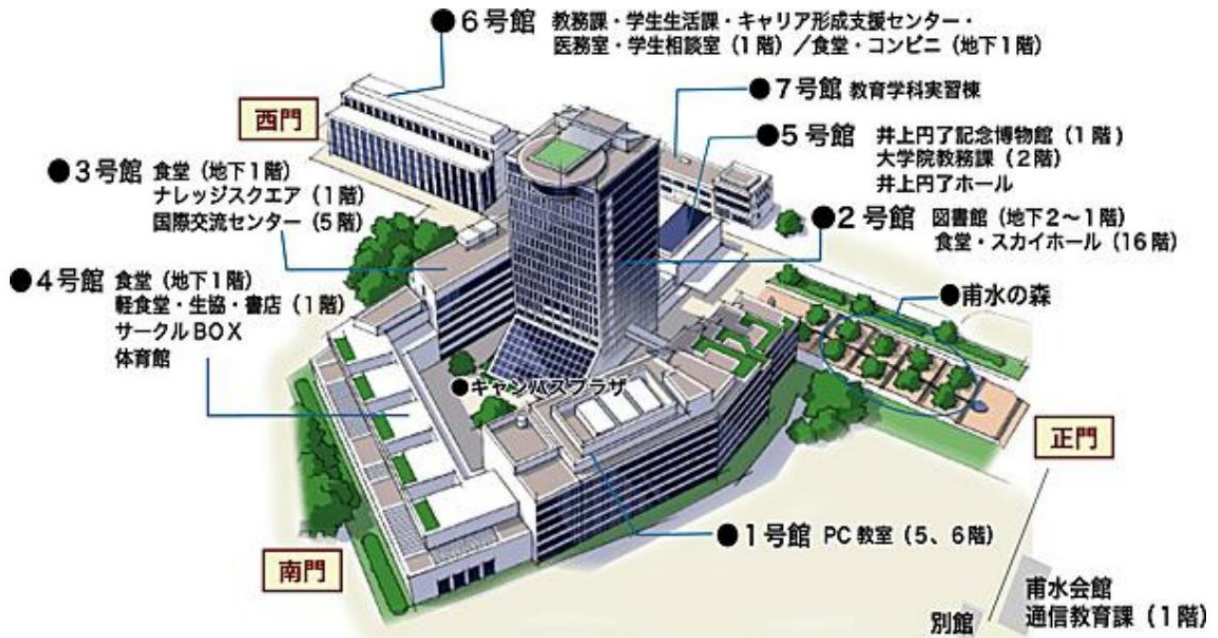
「正門・南門」 1番出口より徒歩5分

都営地下鉄三田線「千石」駅

A1 出口から「正門・西門」徒歩7分



東洋大学 会場見取り図



目 次

第1回言語文化教育研究学会年次大会プログラム	4
予稿集	
【Ⅰ】口頭発表	5
【Ⅱ】ポスター発表	51
【Ⅲ】フォーラム	77
【Ⅳ】パネルセッション	85
【Ⅴ】シンポジウム	113
第1回言語文化教育研究学会年次大会実行委員	139

言語文化教育研究学会 第1回年次大会 プログラム

2015年3月21日 東洋大学

9:00	受付開始	(1号館3F ロビー)		
9:30 - 9:50	開会式	(1号館3F 1305教室)		
10:00 - 12:15	口頭発表	<p>〈会場1〉 1号館3F 1307教室</p> <p>英語学習者の声：学習者のビリーフ (Learners' beliefs) に焦点をあてて 鈴木栄 (湘南工科大学)</p> <p>日本語学習者がコミュニティ参加を通して学べること 柴田智子 (Princeton University)</p> <p>日本人英語学習者の留学時におけるWTC促進要因：会話相手の視点から 豊永開 (早稲田大学大学院国際コミュニケーション研究科)</p> <p>言語と人権-日本統治時代を生きた台湾人の語りの分析- 佐藤貴仁 (早稲田大学日本語教育研究センター)</p>	<p>〈会場2〉 1号館3F 1308教室</p> <p>日本語だからこそ語れること — 海外の日本語教育実践において「日本語で語る必然性」を構築することの可能性と意義 原伸太郎 (東京福祉大学)</p> <p>日本語教育における自分誌実践の意義と課題 松本裕典 (静岡日本語教育センター)</p> <p>日本語学習支援を目的とする地域日本語教育から、共生と自立の力を形成する地域日本語活動へ 福村真紀子 (早稲田大学大学院日本語教育研究科)</p>	
12:20 - 13:20	ポスター発表	<p>〈会場1〉 1号館3F 1310教室</p> <p>体験知からの言語学習-初級レベルからの交流文化活動デザインの提案- 宮岡余里子 (Creative Education)</p> <p>様々な役割を担う教師の存在を学生はどのように捉えているのか-日本語教師の役割を再考する手掛かりとして- 平澤栄子 (日本語学校講師)</p>	<p>〈会場2〉 1号館3F 1311教室</p> <p>ベテラン教師は新人教師にどのように向き合ったか-小学校新任教員育成 現場の声を聞く- 重信三和子</p> <p>中級日本語学習者を対象としたAcademic Japanese 授業の実践報告 高橋薫 (東洋大学)</p>	
13:20 - 14:20		<p>異文化コンフリクトに対する日本語学習者の対応-ビジネスコミュニケーションのケース活動を用いて- 真鍋雅子 (神田外語大学留学生別科) 大隅紀子 (東京大学大学院新領域創成科学研究科国際交流室日本語教室)</p> <p>対話を軸とした地域住民参加型授業の課題と可能性 —参加者インタビューの分析から— 家根橋伸子 (東亜大学)</p> <p>中国人女子留学生のライフストーリーからみる留学動機と将来像 佐藤正則 (早稲田大学日本語教育研究センター) 中山亜紀子 (佐賀大学)</p>	<p>アジアの将来を担う医療人材の育成での事前日本語教育-インドネシアの看護学部生を対象とした遠隔授業と現地短期集中授業の併用による試み- 神村初美 (首都大学東京) 藤本かおる (首都大学東京)</p> <p>教育観・学習観の「変容」を考える-今までの価値観が「変容」したきっかけ- 佐野香織 (早稲田大学日本語教育研究センター)</p>	
12:25 - 14:10	フォーラム	<p>〈会場1〉 1号館3F 1307教室</p> <p>日本語学習・日本語教育の商品化と消費という視点から教室・学習者・教師を問い直す つなごうねット (佐野香織, 瀬尾悠希子, 橋本拓郎, 米本和弘; 以上, 発表参加者, 瀬尾匡輝: 発表応募者)</p>	<p>〈会場2〉 1号館3F 1308教室</p> <p>「ライフ」を聴いてどうするのか-言語文化研究におけるインタビューの意味- 福村真紀子 (早稲田大学大学院日本語教育研究科) 遠藤ゆう子 (早稲田大学日本語教育研究センター) 佐藤貴仁 (早稲田大学日本語教育研究センター) 佐藤正則 (早稲田大学日本語教育研究センター) 鄭京姫 (早稲田大学日本語教育研究センター) ロマン・パシュカ (早稲田大学大学院日本語教育研究科)</p>	<p>〈会場3〉 1号館3F 1312教室</p> <p>日本語教育の「教育」を考える-日本語教育における教育言説を手がかりに- 古屋憲章 (早稲田大学日本語教育研究センター) 高橋聡 (早稲田大学日本語教育研究センター) 松井孝浩 (国際交流基金)</p>
14:20 - 16:20	パネルセッション	<p>〈会場1〉 1号館3F 1307教室</p> <p>日本語学習者及び教師の変容研究とその方法-「複線径路・等至性アプローチ (TEA)」を例とした可能性- 北出慶子 (立命館大学) 三枝優子 (文教大学) 杉本香 (国際交流基金 関西国際センター) 小松麻美 (世明大学)</p>	<p>〈会場2〉 1号館3F 1308教室</p> <p>日本語学校における実践研究と連携の意味-連携はどのように可能か 佐藤正則 (早稲田大学日本語教育研究センター) 白石佳和 (友国際文化学院) 萩原秀樹 (インターカルト日本語学校) 松本裕典 (静岡日本語教育センター)</p>	
16:30 - 18:30	シンポジウム	<p>〈会場〉 1号館3F 1305教室</p> <p>教室・学習者・教師を問い直す 司会：広瀬和佳子 (神田外語大学) パネリスト：池田玲子 (鳥取大学) 牛窪隆太 (関西学院大学) 近藤彩 (麗澤大学) 三代純平 (武蔵野美術大学)</p>		
18:30 - 19:30	総会・閉会式	(1号館3F 1305教室)		
19:30	懇親会			

第1回年次大会実行委員会

牛窪 隆太 (関西学院大学)

田中 祐輔 (東洋大学)

田中 里奈 (フェリス女学院大学)

広瀬 和佳子 (神田外語大学)

松井 孝浩 (国際交流基金)

三代 純平 (武蔵野美術大学)

(敬称略・五十音順)

言語文化教育研究学会 第1回年次大会予稿集

2015年3月21日発行

編集・発行 言語文化教育研究学会

〒187-8505 東京都小平市小川町1-736

武蔵野美術大学鷹の台キャンパス

三代純平研究室内

Email: contact@alce.jp